

福島県PTA連合会会報
第48号_H11.03.05

P T A ふ く し ま

第 48 号
福島県 P T A 連合会
編 集 / 調 査 広 報 委 員 会
印 刷 / 泉 印 刷 所



元気いっぱい “雪に遊ぶ”

今年の会津若松市内は積雪が少
ないとか。
それだけに、雪と戯れる子ども
たちの表情は輝いている。



[写真提供]

会津若松市立鶴城小学校



今、子供たちが 心を失う危機

副会長 佐藤 幹夫
(福島県小学校長会会長)

昨年の夏、「新しい時代を拓く
心を育てるために」―次世代を育
てる心を失う危機―という標題の
中央教育審議会答申が公表されま
した。

〇「おはよう」から始めて礼儀を
身につけさせよう…等であります。
読んでいて「現状を何とかしな
ければならない」という切実な思
いが伝わってきます。

この答申の特徴として、
一つは、家庭や地域、学校のそ
れぞれに対し、今なすべきことを
具体的に問いかける提言形式をとっ
ていること

「全員参加の P T A になってい
ない」「父親の顔が見えない」「心
の教育面の取り組みに欠けている」
等々：各単 P それぞれが抱える解
決すべき課題はないでしょうか。

二つ目には、従前、国として取
り上げること慎重であった家庭
におけるしつけの在り方について
具体的な提言をしていること
が挙げられます。

「評論は誰にでもできます。まず
は、できるところからの実践が求
められています。口先だけではな
い、実質の伴った子供たちのため
の P T A 活動を推進していきたい
ものと思います。」

家庭や学校で取り組まなければ
ならない多くの具体的な事例が示
されています。

『おかあさん、しっかり抱きし
めていますか。おとうさん、しっ
かり受けとめていますか。おじさ
ん・おばさん、しっかり見つけて
いますか。子供は、家庭と学校と
地域、そして社会が育てます。』

例えば、
〇思いやりのある明るい円満な家
庭をつくろう

『子どもと話そう。うつくしまキャ
ンペーン』を、もう一度かみしめ
たいと思います。

〇家族一緒に食事を大切にしよう
〇やっつけていけないことや間違っ
た行いをしっかり正そう

〇生き物との触れ合いを通して、
命の大切さを実感させよう

命の大切さを実感させよう

特集

県P連活動スローガン
語り合い 分り合い
確かな信頼関係を

『家庭を見直そう』

福島市立蓬萊東小学校父母と教師の会

ここ蓬萊町は福島市の郊外、南東に位置し、緑多く、近隣には福島大、福島大学を有するという恵まれた環境下にある。町内には中学校一校、小学校が二校在り、各単PがPTA活動を行っていく上で欠かせないものに三校連絡協議会がある。これは各学校から提起された問題を検討し、その対応を図ることなどを目的として年二回開催されるものである。

今年度は昨今マスコミを賑わしている児童生徒の問題行動、学級崩壊と呼ばれる現象が小学校でも起こりはじめていること、さらにはその原因として家庭における子供への嫉の不行き届き、多様化する子供達へ教師の対応が追いつかないなどが指摘されていることに鑑み、「家庭を見直そう」を共通の協議テーマとして取り上げた。当PTAでも「もう一度家庭教育を見直そう」を今期の活動目標として掲げ、取り組んできたのでその活動状況の一部を紹介する。

(A) 保護者に対する調査結果

- 問① 今の子供達は自分が子供の頃と比べてどう違うか↓我慢できない子供が増えた60%、何でも手に入って幸せ50%、大事にされ過ぎている42%
- 問② 今の大人は自分が子供の頃と比べてどう違うか↓他人の子供を叱る親が減った80%、子供に干渉し過ぎる50%、親が子供を叱らない40%
- 問③ 子供のことで気になる点↓整理整頓ができない45%、親が手を出さないと何もできない、朝自分で起きれない35%
- 問④ 子供に心掛けさせたい事↓他人に対する思いやり70%、自分の行為に対する責任性40%、多くの人と仲良くする35%
- 問⑤ 学校教育に望むもの↓協同性60%、社会性50%、公共性35%
- 問⑥ 手伝い↓させる67%

(B) 児童に対する調査結果／家庭生活について

- 問① 家の手伝い↓毎日100人、週3回以上110人
- 問② 家庭での会話↓学校での出来事250人、友達・遊びの事180人
- 問③ 親に関して↓厳しい100人、自分を分かってくれている130人。

(会長 遠藤 正光)

『ともに育むPTA』

郡山市立郡山第二中学校PTA

本校のPTA活動の特徴は、ひとつの目標に向かって、生徒・保護者・学校そして地域の方々が一気確立されていることだろうと思います。

一例を挙げますと、親と教師の研修会では、日頃の様々な悩みの声に答えるべく、様々な分野にわたる講師の先生をお呼びしたり、語り合いの時間を多く設定したりするなどして、意義のある研修会にしようと工夫しています。また、学校行事では、保護者や地域の方々の協力のもと、文化祭をはじめとした盛大な校内行事が節目節目に展開され、さらには、保護者も参加しての校外行事を定期的に行なうことで、常に何らかの目標に向かって取り組みながら信頼関係を深め合っている状況にあります。

その集大成として、今年度は創立五十周年記念事業への取り組みがありました。一年前から学校・保護者・同窓会ならびに地域の方々の準備を進め、その成果として、去る十月十七日、生徒が主役となった記念式典が盛大に挙行されました。五十周年を記念して制定された「二中讃歌」の全校合唱は、本校のPTA活動の象徴でもあったように思われました。

このように、機会あるごとに保護者と教師、教師と生徒、あるいは三者が同じ目線で物事を考え、取り組み、成し遂げる喜びを味わうことにより、大人の子どもに対する理解が深まり、子どもたちも伸び伸びと学習や諸活動に取り組めるようになっていくのではないかと感じていきます。

今後も、本校PTAに受け継がれてきたこの雰囲気を見失わせないこととなく、さらに時間の許す限り、語り合いの機会を増やしていきたいと考えています。



(会長 今泉 守顕)

今年度、右記のように県P連

としての活動のスローガンを設定し、各都市P・各単Pの協力をいただきながら、一つの目指す方向を共通にもち、PTA活動の活性化を願ったわけです。

各単Pには、この主旨やスローガンそのものの伝達・PRが十分でなく反省をしているところ

です。昨年十一月に、このことについてのアンケートをお願いしたところですが、小中学校合わせ九十校から回答をいただきました。

今回の特集は、その中から特徴的な四校についてご紹介をいたしますので、来年度の参考にさせていただきます。

今、本当に語り合いの機会が不足し、それがために多くの問題が発生しています。特に、人間関係に与えていることは計り知れないと考えます。どうして来年度活動の一つの柱としていただきたく願っています。

『親が知りたい！子どもの気もち』

双葉町立双葉北小学校PTA

PTA会報「母子像」の一〇〇号記念の特集として、子どもたちがどんなことを考えているか、日頃私たち親が子どもに聞いてみたい事を五、六年生全員を対象にアンケートをとり、その結果をもとに、五年一組の子どもたちと広報委員で座談会を開き、子どもたちの生の声を聞いてみました。

一、「何をしている時が一番楽しいですか。」という質問に対しては、男女ではまったく違う結果

が出たので、男女別に集計しました。男子の一位は、戸外などで遊んでいる時で四一%。二位以下が、ゲーム三六%。家族と一緒にいる時八%。テレビ・漫画七%。その他八%でした。女子の一位は、友達と遊ぶ・話す

が六七%。次にテレビ・漫画・読書一五%。好きな事をして

いる時八%。その他一〇%でした。二、「今の悩みは何ですか」という質問に対しては、なしが七五%。友人関係一三%。勉強六%。スポーツ四%。体・健康二%。という結果でしたが、この「なし」にはいろいろな意味が込められているのではと感じました。

三、「親の好きな(ステキな、立派な)ところは？」という質問に

対しては、仕事をしているところ二六%。やさしい二三%。いろいろ教えてくれ、頼りになる一%。ない・わからない一%。話を聞いてくれる六%。やるべきことをきちんとする五%。その他一九%で、見ているところは見ているんだなど安心する反面、親もすっかりしないとだめだなど反省させられました。

四、「どういう大人になりたいですか」

五、「親への要望」という質問では、やさしい大人、親みたいの人という回答が、半数を占め、要望

なしが四割、ありが六割で、「おこづかいを上げてほしい」「あまり怒らないで」という要望が、半数を占めました。座談会では、子どもたちからは「怒る時は、ちゃんとわけを聞いてから怒ってほしい」「話を聞いてほしい」「約束を守ってほしい」等いろいろな意見がだされました。言われれば当然のことを親も気づき、子どもにも守らせるには、語り合い・分かり合えないこととを痛感させられた次第です。

ぜひ、皆様の家庭でも子どもの声に耳を傾けてみてください。(会長 永田茂男)

『親子の触れ合いを求めて』

金山町立横田中学校父母と教師の会

横田中学校は、奥会津の玄関口に位置する、全校生徒三十九名、実家庭数三十六のへき地小規模校です。ここに本会の活動の一端を紹介いたします。

▼全会員参加の委員会組織

積極的な会の運営のためには、会員の意欲的な取り組みが不可欠ですが、本会では全員が四つの委員会に所属して事業の運営に携わっています。何らかの形で、親子ともどもお互いの活動の様子を垣間見ることができ、親子の対話を促進する契機となっています。

▼親子学級

《第一回(十一月)》

まず、親子共同で冬囲いに取り組んだ後、生徒の企画によるレクリエーションで汗を流し、様々な室内ゲームに歓声をあげながら触れ合いを深めました。最後には親子クッキングとしてパーベキューを楽しみ、火を囲みながら親子の会話が弾みました。

《第二回(一月)》

学校では、勤労生産的な体験活動として、蕎麦の栽培・収穫を実施してありますが、その仕上げとして、蕎麦打ちを体験し、楽しく試食しました。

これらの事業を通して、親子で一緒に楽しもうとする意識の高揚が図られるとともに、共同で活動することによって、共通の話題ができるなど、家庭内での親子の対話の促進につながるばかりでなく、家庭を超えた地域の大人と子供の関わりを一層深めることができました。さらに全会員の参加と地域との融合を目指していきたくと考えております。

(会長 滝沢清男)



各地区だより

『この一年を振り返って』

安達地区



安達地方小学校PTA連合会 会長 齋藤泰一

しく生きる力を育むPTA活動の推進「子どもの生きる力を育む家族、家庭のあり方」について熱心に研究討論が行われました。

安達地方小学校PTA連合会 会長 齋藤泰一
学校PTA連合会は、二本松市、安達町、大玉村、本宮町、白沢村、岩代町、東和町の七市町村、四十五校で組織されています。

また、十月の福島県PTA研究会では、熱塩温泉において、恒例の懇親会を参加者全員で行いました。各校の会長、副会長、校長等が一堂に会し、お互いを知り合うよい機会に会し、情報交換をしたり、議論が白熱したり、懐かしい方々にお会いし、昔話に花が咲いたり、大変盛り上がりしました。

郡山地区

『家庭・学校・地域・行政の連携を』



郡山市PTA連合会 会長 早川敬介

郡山市PTA連合会は、小学校六十二校、中学校二十八校に加え、幼稚園三十五園、高校十五校(養護・聾学校含む)を含めた百四十校で組織されています。

今年度は、市教委当局に『教育諸案件の整備充実について』十三項目の陳情活動をいたしましたところ、文書による誠意ある回答をいただいたところであります。

第22回 子どもの災害事故防止コンクール

第22回子どもの災害事故防止習字・ポスター展の審査は去る二月九〜十日に行われ、優秀作品が決まりました。

(敬省略)

習字

- 鈴木幸子(元蓬萊小教諭)
佐藤一男(元清明小教諭)
野澤光男(元北沢又小校長)
高荒敏明(元余目小校長)

習字

小学校

- 最優秀賞《一年》寺本英央(明健小)
《二年》佐藤江里(江名小)
《三年》首藤花央(永盛小)
《四年》新井田憩(行仁小)
《五年》齋藤優季(五箇小)
《六年》本郷友里(平二小)
優秀賞《一年》宗像亮(田村・大久保小)
福地友也(綴小)
小澤菜月(長倉小)
《二年》小杉昌(行仁小)
櫻村千恵(永盛小)
工藤大樹(綴小)
《三年》芳賀美咲(泉北小)
鈴木絵里香(川辺小)
山川沙有美(永崎小)
正原愛恵(南向台小)
佐川真吾(五箇小)

さか 明健小 てらもとびでお

湖水 齋藤優季

- 《四年》佐藤由希(江名小)
室井裕美子(会津若松・東山小)
佐藤仁美(川辺小)
井上奈穂(五箇小)
青木望美(綴小)
《五年》渡辺彩華(五百川小)
渡辺友里耶(郷ヶ丘小)
寺本優香(明健小)
小野有美子(南向台小)
佐藤貴彦(松山小)
《六年》鈴木淳子(川辺小)
折笠正幸(いわき・鹿島小)
鈴木亜依(五箇小)
佐藤麻未(永盛小)
摺出寺祥江(門田小)
優良賞《一年》高橋真未(五箇小)
岡田祐太(双葉南小)
箱崎理恵(永崎小)
服部恵(須賀川三小)
《二年》渡辺みほ(福島月輪小)
若林美希(会津若松・東山小)
猪狩良平(高平小)
栗山奈子(須賀川二小)
《三年》田川千愛(城南小)
鈴木希枝(久之浜一小)
官野智恵(油井小)
園部聡美(江名小)
馬上今日子(いわき・鹿島小)
大戸理(みさか小)
吉田朋美(河東三小)
《四年》鈴木美香(棚倉小)
齋藤優美(油井小)
宗像克往(田村・

▲ 齋藤優季 (五箇小5年) ▲ 寺本英央 (明健小1年)

南会津地区

『夢あふれる未来社会を!』

南会津郡PTA連合会

会長 阿部 保 憲



南会津郡PTA連合会が、唯一の行事として、研究大会が、昨年八月二日、県PTA研究大会の大会主題でもある「夢あふれる未来社会とするために、子供とともに新世紀の扉を開けよう!」をテーマに、下郷町立旭田小学校PTA主管のもと開催されました。

五つの分科会に分かれて研究協議が行われ、各分科会とも熱心な討議がなされ、多くの成果をあげることができました。研究協議会後は、福島県方言を語る会会長の村野井幸雄先生の講演が行われました。講演では、村野井先生のネパールの人々に対する思いと先生の感動を受けました。当日会場校となった旭田小PTAの皆さんのご協力に感謝するとともに、私自身にとっても大切な一日となり、良い経験をさせていただきました。感謝申し上げます。

私達の住む南会津は、すばらしい自然があるということ、そこに住む人間にとっては、その良さを見失いがちです。このままだと、この地域では新世紀中ごろには、人は住んでいない状況になってしまうのではないかと危惧されます。このような問題を抱えながらも私達の単位PTA並びに地区PTAは、PTA活動の意義を考え、その活動を通して、この地方の人々が生きるのに一番良いところだと思えるように、たゆまない努力をしていきたいと考えています。今後は、他地域のPTAの皆さんとも交流が出来ればと願っています。

いわき地区

『PTA活動活性化への協力』

いわき市PTA連絡協議会

会長 小 森 良 一



いわき市PTA連絡協議会は、十三方部で、単Pの数は百十一団体であり、広域都市として大変大きな組織であります。市連Pでは二大事業として、六月に県PTA指導者研修会、十一月には教育講演会が行われました。

県PTA指導者研修会は、二日間において開催されました。第一日目は、演題「子供の心の健康と家族」と題し、松村総合病院診療部長木田教一先生の講演をいただきました。その中で先生は、健やかな子供の育成のためには、夫婦連合(パートナーシップ)を強化し、家族システムの安定化を図ることの重要性や、価値観の押付けをせず、子供の多彩な自立を認めることの必要性を話されました。午後からは、各方部の方々に出席していただいて、「子供に生きる力を育てるためのPTA活動の在り方」というテーマで、東日本

国際大学教授北見正伸先生を司会者として、シンポジウムフォーラムが行われました。この会では、数回の打合せを重ね、パネリストには各方部の会長に御登壇いただき、各自の体験を踏まえてのお話を頂戴致しました。この一年間、いろいろな方々にお手伝いをいただき、諸行事に関しては、当番表を設けてそれぞれ責任をもって推進していただいております。さまざまな交流を通し、人間関係を深めていくと同時に、情報交換をし合いながら、健やかな子供たちの成長のために多くの皆様のご尽力をいただいております。

- ▼中学校
- ◇最優秀賞《一年》荒川元恵(平一中)
 - 《二年》渡辺利世(小浜中) 《三年》石川格子(白河中央中)
 - ◇優秀賞《一年》穴澤美和(塩川中) 《二年》本郷真大(平一中) 《三年》佐藤愛子(平一中)
 - ◇優良賞《一年》添田奈津希(郡山一中) 《二年》斎藤一美(東和中) 《三年》上田 彩(郡山一中)

- 大久保小) 渡部未来(城北小) 遠藤和之(久之浜一小) 岡崎菜美(須賀川一小) 緑川詩織(綴小) 《五年》浅賀裕美子(棚倉小) 田島彰子(川辺小) 矢森美由紀(猪苗代小) 橋本育実(若江小) 鈴木理恵(須賀川三小) 清水知佳(阿武隈小) 五十嵐太陽(河東三小) 《六年》車田佳子(鏡石一小) 庄司ちえ子(松山小) 大竹瑠子(河東三小) 戸野貴子(荒井小) 遠藤奈美(城南小) 加藤 恵(みさか小) 鈴木良史(会津若松、東山中)
- 山葉月(小名浜一小) 《五年》花見早規(東芳小) 《六年》小島隆史(瀬上小)
- ◇優秀賞《一年》大内絵里奈(五百川小) 《二年》若林美希(会津若松、東山中) 《三年》白岩慶太(城南小) 《四年》根本かおり(久之浜一小) 《五年》小川比加梨(矢野目小) 《六年》鈴木一矢(五箇小)
- ◇優良賞《一年》穴沢直美(田島小) 《二年》橋本歩実(いわき、鹿島小) 《三年》向坪貴英(鏡石一小) 《四年》木幡章弘(荻野小) 《五年》大河内成枝(阿武隈小) 《六年》面川 茜(鏡石一小)

防災

平第一中学校 荒川元恵

▲ 荒川元恵 (平一中1年)

ポスター

- ▼小学校
- ◇最優秀賞《一年》吉田貴美(西袋二小) 《二年》内海佳奈子(豊川小) 《三年》小賀坂菜奈(瀬上小) 《四年》内



▲ 小島隆史(瀬上小6年)



▲ 渡部成美(猪苗代・吾妻中3年)

- ▼中学校
- ◇最優秀賞 渡部成美(猪苗代・吾妻中3年)
 - ◇優秀賞 鈴木香織(鏡石中1年)
 - ◇優良賞 宮森和穂(田島中2年)

平成11年新入学(園)児童・園児の交通事故防止を

「信号がピカピカチュウい 止まろうね」

のスローガンのもと、平成11年新入学(園)児童・園児の交通事故の防止と交通安全教育の推進を図ることを目的として実施されます。

本会は、推進団体の一員となっております。保護者として、子どもたちを交通事故から守るとともに、子どもたちの模範となる行動や運転などに十分注意したいと思います。

○期 間

平成11年4月6日(火)～12日(月) 7日間

○運動の重点

- (1) 子ども、特に新入学(園)児童・園児に対する交通安全教育・指導の徹底
- (2) 保護者の交通安全意識の高揚
- (3) 通学・通園路など身近な場所での交通安全の確保

各学校・地域の実情をふまえ、事故防止に効果的な運動を展開されますようお願いいたします。

県PTA来年度の主な行事

- 6月8日(火) 第1回評議員会
- 6月25日(金) 小中別懇談会
- // 常置委員会・理事会
- 7月6日(火) 役員総務合同会議
- ※ 8月20日～21日 日P愛媛大会
- 8月27日(金) 母親代表者懇談会
- 8月31日(火) 理事会・常置委員会
- ※ 9月10日～11日 東北P・県P相馬大会
《母親リーダーセミナー》
- 9月17日(金) 県中南(須賀川)
- 21日(火) 会津(会津若松市)
- 24日(金) 浜(榎葉町)
- 28日(火) 県北(福島市)
- ☆ 災害事故防止習字・ポスター募集
12月～1月
- ☆ 日P基金協力 1月～2月
- 2月10日(木) 役員総務合同会議
- 2月29日(火) 第2回評議員会
- ☆ PTA広報紙・学校新聞コンクール
作品募集 2月～3月25日

◎日P基金への協力

ありがとう PPTAです

このことについては、昨年の十一月各学校宛にご依頼申し上げたところでございます。

二月末締切でしたが、五十八校からご協力をいただきました。数字的には低いのですが、多くの書き損じハガキが集まりました。誠に協力ありがとうございました。

なお、まだ県P事務局に送付していない場合は、いつでも受け付けてますので送付ください。

協力いただきました学校名は、次号に掲載させていただきます。

■お詫び

第二十六号で紹介した平成十年度県PTA理事名簿に、田村地区の早川栄二氏の氏名が漏れておりました。改めてお知らせします。

▼安全互助会に関する問い合わせは、県P連事務局へ

TEL・FAXとも
〇二四一五四五―五九八二
受付 九時から十六時
土・日・祝祭日は休み

◆編集後記◆

三月は、「別れの月、巣立ちの月、飛躍・発展の月……」とか言われますが、人それぞれがいろいろの月を迎えることでしょう。

今回の会報は、県P連が今年度新たに設定した活動スローガン「語り合いの分り合い、確かな信頼関係」の特集を組みました。

このスローガンは、来年度も継続することが決まっていますので、今回の特集は、今年度から来年度への橋渡しという意味で「継続・飛躍の会報」というべきでしょうか。平成十一年度は、東北ブロックPTA相馬大会の成功とスローガンの展開等々に、皆様と共にいっそう努力したいと存じます。

福島県PTA安全互助会

TEL・FAX 024-545-5982

《提携損保》

共栄火災海上保険相互会社

〒960-8035

福島市本町5-5 殖銀フコク生命ビル7階

TEL 024-523-3507

FAX 024-523-3509